

■阿茶局(雲光院)
あちやのつばね
大陸邦民事件1555=

徳川家康の側室。才智にたけて、大奥を統制し、政治的にも家康・秀忠をサポートした。

生。武田信玄の家臣飯田筑後直政の娘。名は須和。

直政は、武田信玄と今川義元が和睦した時、信玄の許しを得て今川氏の家臣となった。

桶狭間の戦・1560= 5歳 :

川中島の戦終1564= 9歳 :

織田信長入京1568=13歳 :

室町幕府滅亡1573=18歳 : 今川氏の家臣神尾孫兵衛忠重と結婚。

安土楽市楽座1577=22歳 : 忠重が戦死、須和は4歳の守世と後に残された。

安土教会許可1579=24歳 : *家康に召され側室となり、阿茶局と称する。

常に家康の側近くにあり、

本能寺の変・1582=27歳 :

賤ヶ岳の戦・1583=28歳 : 子守世も秀忠の小姓となる。

長久手の戦・1584=29歳 : 小牧長久手の戦の際には陣中であって流産した。

以後、子供に恵まれなかったが、

.....1589=34歳 : 秀忠・忠吉の生母西郷局が死去すると、2人の義母となって養育にあたる。

秀吉全国統一1590=35歳 :

利休切腹・1591=36歳 :

才智にたけて、大奥を統制したばかりでなく、政治的な働きも見せ、

関ヶ原の戦・1600=45歳 : 関ヶ原の戦における小早川秀秋の内応には局の働きがあったという。

家康駿府退隠1607=53歳 :

島津琉球支配1609=54歳 :

支倉常長渡欧1613=58歳 : この頃から、*隠密御用を務め、

大坂冬の陣・1614=59歳 : 大坂冬の陣には家康に従って従軍し、本多正純とともに徳川方の使者として、和議の交渉にあたった。交渉のあと、板倉重昌と大坂城に赴き、豊臣秀頼母子の誓紙を取るなど、家康の意をうけてよく働いた。

徳川家康没・1616=61歳 : *家康が没すると、側室はすべて剃髪して院号を名のるなか、家康の遺命によって髪を切らず、江戸城竹橋内に邸地(のちの田安屋敷)を賜り、中野村に賄料300石をうけた。

.....1618=63歳 :

秀忠娘入内・1620=65歳 : 秀忠の5女和子が後水尾天皇の女御として入内する時には、母代りとして入浴。後水尾天皇から従一位という臣下の女性としては最高の位をうけ、神尾一位、または一位の尼と呼ばれた。

徳川家光将軍1623=68歳 : 東福門院和子が懐妊すると、側近くにあつて世話をする。秀忠・家光の上洛にも従い、

紫衣勅許無効1627=72歳 :

徳川秀忠没・1632=77歳 : *秀忠没後、剃髪して雲光院と号し、

東照宮社殿・1636=81歳 :

島原の乱始・1637=82歳 : 没した。

平凡社百科事典、インターネット、